

# 長期脱炭素電源オークション

## 期待容量等算定諸元一覧作成に ついての補足説明

2024年9月  
電力広域的運営推進機関

1. 電源種別および燃料または発電方式に応じた期待容量等算定諸元一覧の区分
2. 期待容量の算定方法
  - 安定電源（揚水、蓄電池を除く）
  - 変動電源
  - 安定電源（揚水、蓄電池）
3. 応札容量の算定方法
  - 安定電源（揚水、蓄電池を除く）
  - 変動電源
  - 安定電源（揚水、蓄電池）
4. アセスメント対象容量
  - 安定電源（揚水、蓄電池を除く）
  - 変動電源
  - 安定電源（揚水、蓄電池）
5. その他

# 1. 電源種別および燃料または発電方式に応じた期待容量等算定諸元一覧の区分

- 電源種別および燃料または発電方式に応じて、使用する期待容量等算定諸元一覧については、以下の3つのグループに分けられます。
- 各グループの、期待容量の算定、応札容量の算定、アセスメント対象容量については、以降のスライドで説明します。

対象	電源種別	燃料または 発電方式	専焼/混焼	新設・リプレース等/ 改修	使用する期待容量等算定諸元一覧			
					安定電源 (揚水、蓄電池を除く)	安定電源 (揚水、蓄電池)	変動電源	
脱炭素電源	太陽光	—	—	新設・リプレース			○	
	風力	陸上風力、洋上風力	—	新設・リプレース			○	
	蓄電池	—	—	新設・リプレース				
	水力	揚水	—	—	新設・リプレース・既設 の大規模改修※1		○	
		一般(貯水式)	—	—	新設・リプレース	○		
		一般(調整式)	—	—				
		一般(流込式)	—	—				○
	地熱	—	—	新設・リプレース	○			
	原子力	—	—	新設・リプレース・既設 の安全対策投資※2	○			
	火力※3※4	水素	専焼	専焼	新設・リプレース/改修	○		
混焼			混焼					
アンモニア		混焼	改修	○				
	バイオマス※5	専焼	専焼	新設・リプレース/改修	○			
LNG専焼火力	火力	LNG火力	専焼	新設・リプレース	○			

※1 「オーバーホール（水車および発電機を全て分解し、各 부품の点検、手入れ、取替えや修理）を行う場合であって、主要な設備（発電機（固定子）、主要変圧器、制御盤）の全部を更新するもの」が該当

※2 2013年7月に施行された新規制基準に対応するための投資であり、2013年7月の新規制基準導入後初めて再稼働する前の電源を対象

※3 「CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）付火力」や「アンモニア混焼を前提としたLNG火力の新設・リプレース」、「アンモニア専焼火力の新設・リプレース」、「合成メタンを燃料とする発電所」は、本制度の対象だが、現時点では応札が想定されないこと、上限価格を設定することが困難であることを踏まえ、2024年度のオークションでは対象外

※4 本オークションで落札した既設の火力電源に対し脱炭素化に向けて追加的なリプレースを実施する場合は、原則として、ビルド&スクラップにて対応すること。当該対応が困難な場合には、当該電源の落札後4年後の年度末までの間供給力の提供を継続することを条件に、スクラップ&ビルドでの対応を認める

※5 既設火力をバイオマス専焼にするための改修案件（同一プラントの一部の設備容量が別の脱炭素技術（アンモニア等）による設備容量である場合を含む）は、改修によって新たに増加する脱炭素化kW分を本制度の対象とし、燃料の専焼に至るまでは7割以上の混焼比率が必要

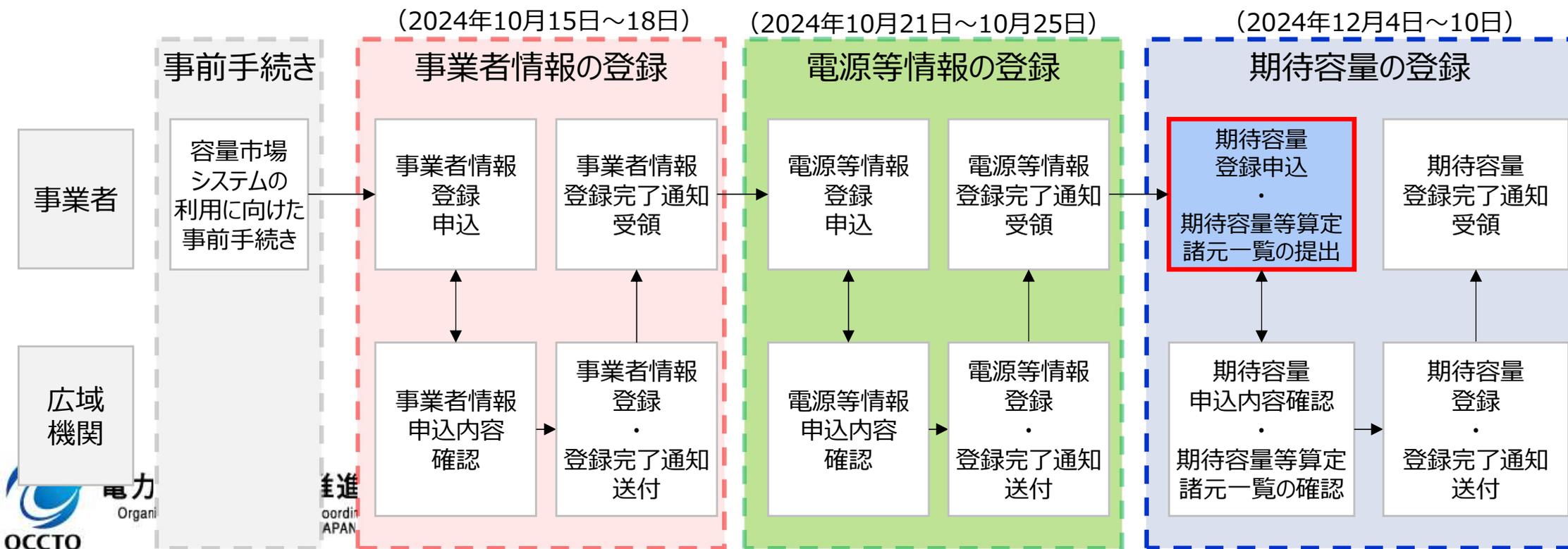
# 「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

## 期待容量の算定

## 2. 期待容量の算定方法

- 期待容量の登録に当たっては、『期待容量等算定諸元一覧』を用いて、応札する電源の期待容量（年間一律）を算定して下さい。
- 『期待容量等算定諸元一覧』に必要な項目を入力すると、期待容量が自動計算されます。この際、**補修等に伴う出力減少分は差し引きません**（補修等に伴う出力減少については、容量停止計画を提出してください）
- 参加登録申請者は、自動計算された期待容量および算定に用いた『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに登録して下さい。（登録受付期間：2024年12月4日～10日）
- 容量市場システムに登録された期待容量と『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容に不整合がある場合や、『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容が不適切な場合、期待容量が登録できませんのでご注意下さい。

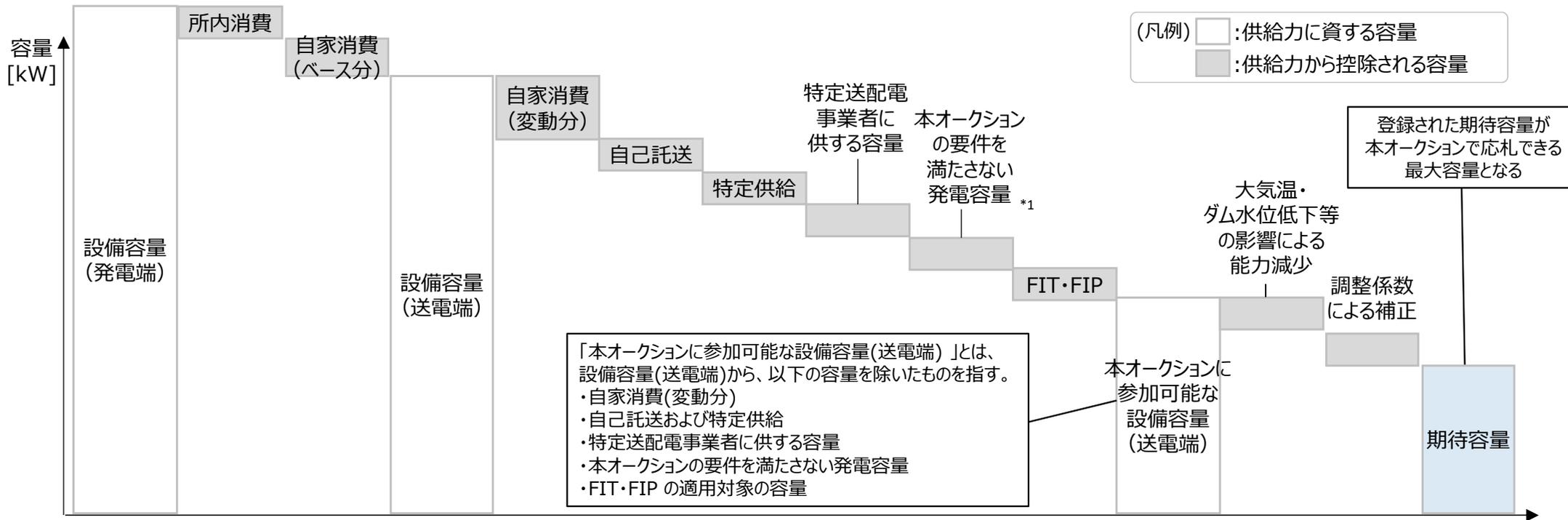
【凡例】  本資料での説明対象



## 2. 期待容量の算定方法

- 期待容量とは、「電源等情報として登録した設備容量（送電端）のうち、制度適用期間において供給区域の供給力として期待できる容量」を指し、kW単位で登録します。
- 登録いただいた期待容量は、**制度適用期間（原則20年）の全年度共通の期待容量**として取り扱います。
- 期待容量は、「電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドライン」（以下「供計ガイドライン」）に基づき、算定されます。ただし、自家消費・自己託送・特定供給・特定送配電事業者に供する容量などは除いたうえで、公表された調整係数を乗じて算定されます。（算定方法は次頁以降で解説）

### 期待容量の考え方



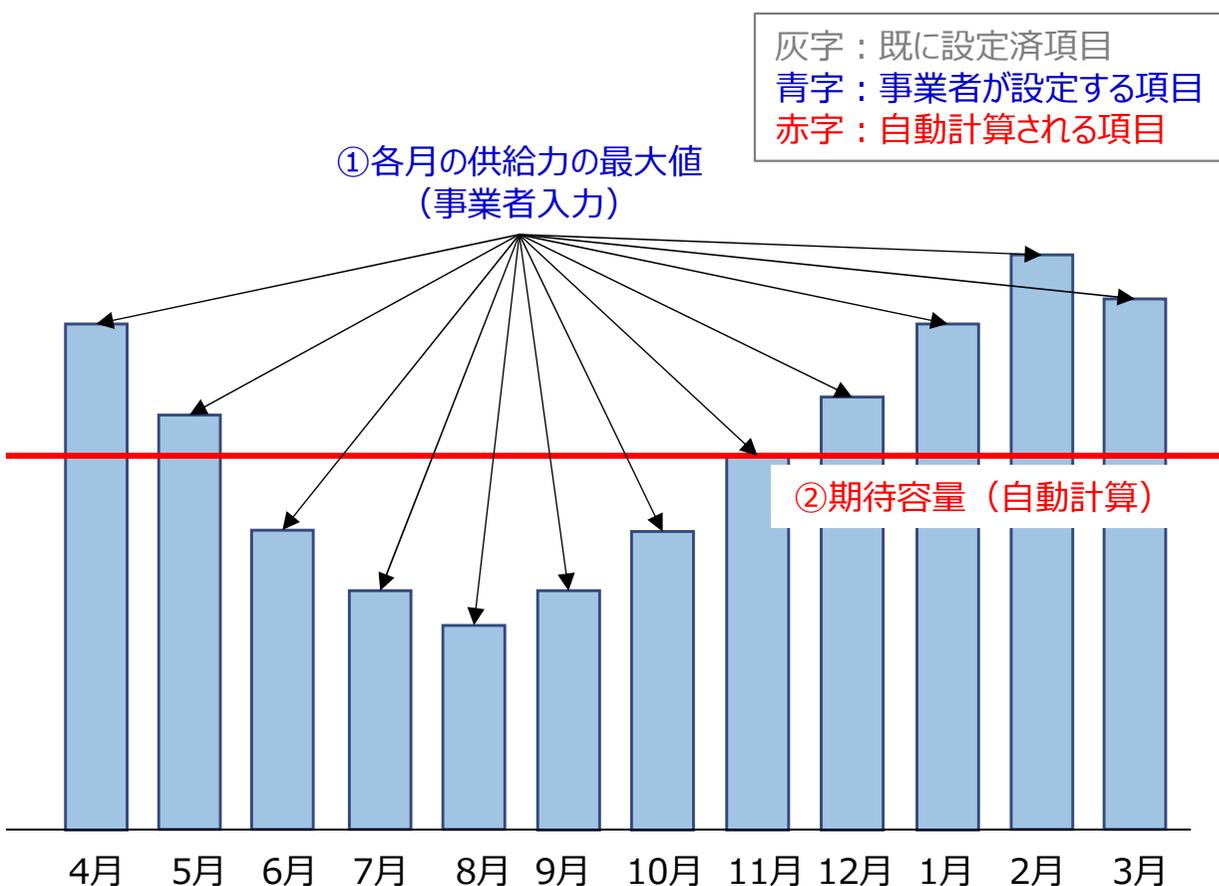
\*1 : 本オークションの要件を満たさない発電容量のうち、自己託送・特定供給・特定送配電事業者に供する容量は、この段階では控除済のため、残りの容量を控除します。例えば、既設火力の化石燃料による供給力部分が該当します。

詳細は、第77回制度検討作業部会P13をご参照ください

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/denryoku\\_gas/seido\\_kento/pdf/077\\_03\\_01.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/seido_kento/pdf/077_03_01.pdf)

## 2. 期待容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池を除く）】

- 「各月の供給力の最大値」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。
- 「各月の供給力の最大値」については、「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」から「大気温及びダム水位低下等の影響による能力減分」を差し引いた値を入力して下さい。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
新設/リプレース/既設火力の改修	新設				
電源種別	LNG専焼火力				
エリア名	東京				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
①	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	② 20万 kW				

## 2. 期待容量の算定方法【変動電源】

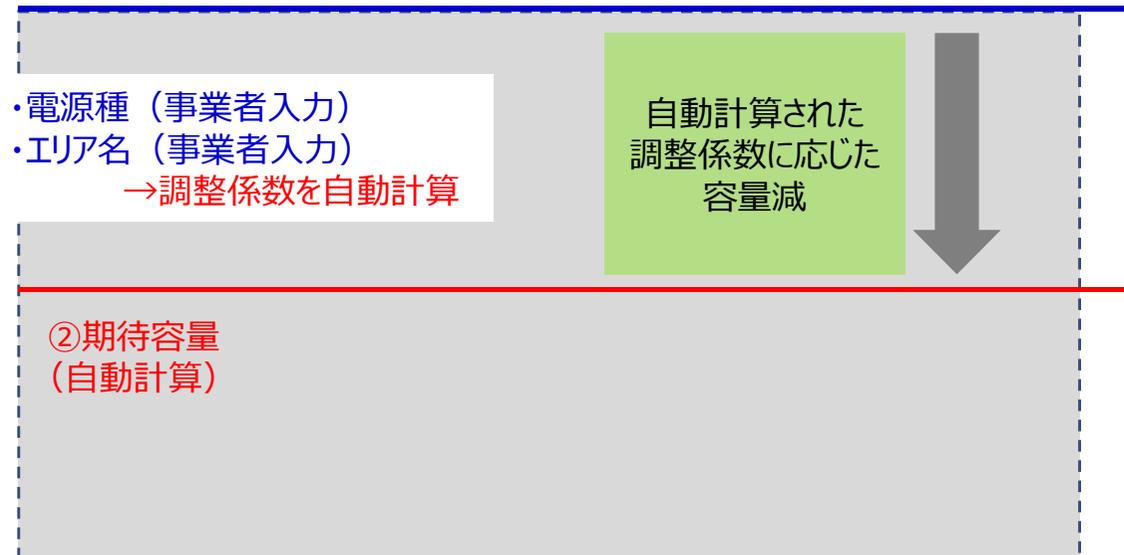
- 「電源種別」および「エリア名」から、調整係数が自動計算されます。
- 「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。

灰字：既に設定済の項目  
 青字：事業者が設定する項目  
 赤字：自動計算する項目

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

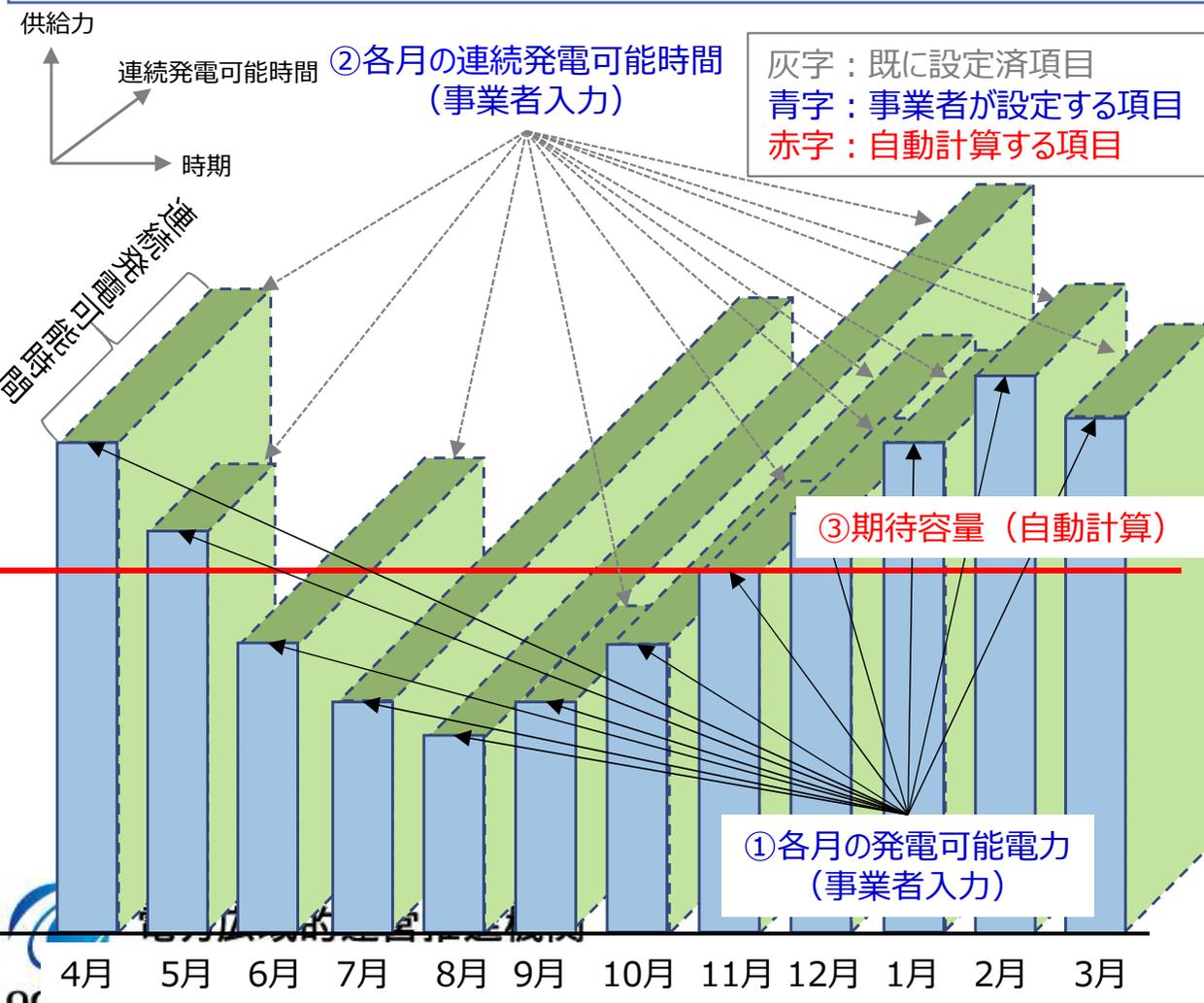
項目	事業者入力
容量を提供する電源等の区分	変動電源
新設/リプレース	新設
電源種別	太陽光
エリア名 <sup>①</sup>	東京
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万kW
調整係数	9.1%
期待容量 <sup>②</sup>	8,983 kW

### ①本オークションに参加可能な設備容量(送電端)（事業者入力）



## 2. 期待容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池）】

- 「エリア名」、「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」を入力することにより、調整係数が自動計算されます。なお、「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」については、**上池満水位時もしくは蓄電池満充電時**において、「**各月の発電可能電力(期待容量算出用)**」で発電した場合に**連続運転が可能な時間**を入力して下さい。
- 「各月の発電可能電力」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。なお、「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」については、「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」から「大気温及びダム水位低下等の影響による能力減分」を差し引いた値を入力して下さい。

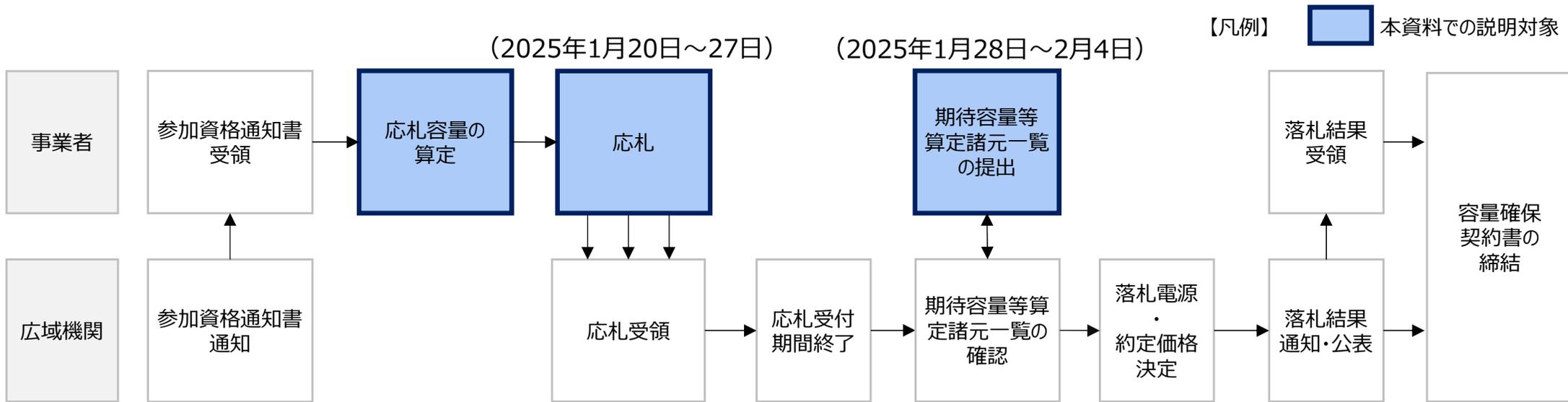


項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
新設/リプレース	新設				
電源種別	蓄電池(運転継続時間6時間以上)				
エリア名	東京				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力(期待容量算出用) ①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間 ②	4月	5月	...	2月	3月
	8h	3h	...	5h	5h
連続発電可能時間(年平均値)	7h				
期待容量 ③	45,254 kW				

「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

## 応札容量の算定

- 期待容量の範囲内で、任意の応札容量（年間一律）を設定することが可能です。この際、**補修等に伴う出力減少分は差し引きません**（補修等に伴う出力減少については、容量停止計画を提出してください）
- 参加登録申請者は、『期待容量等算定諸元一覧』を利用して算定した応札容量を容量市場システムに登録してください。（**応札受付期間：2025年1月20日～27日**）
- また、応札容量算定時に利用した『期待容量等算定諸元一覧』についても、容量市場システムに登録して下さい。（**登録受付：2025年1月28日～2月4日**）※応札した全ての電源について登録が必要です
- 登録された『期待容量等算定諸元一覧』と応札容量の不整合が解消されない場合や、『期待容量等算定諸元一覧』が提出されない場合等には、容量確保契約の解約（市場退出）となる場合があります。

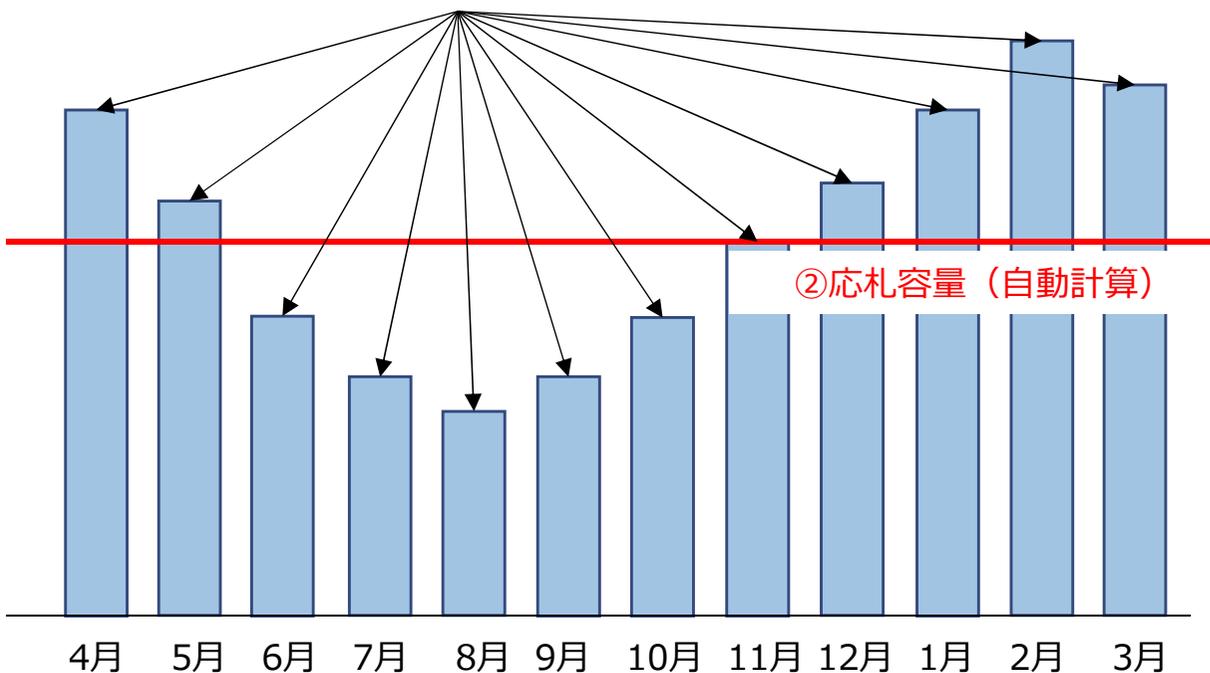


### 3. 応札容量の算定方法【安定電源(揚水、蓄電池を除く)】 (期待容量 = 応札容量の場合) 12

- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」以下の値で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 「提供する各月の供給力」を「各月の供給力の最大値」と等しい値で応札する場合、以下のようになります。

灰字：既に設定済項目  
 青字：事業者が設定する項目  
 赤字：自動計算する項目

①提供する各月の供給力  
(事業者入力)



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

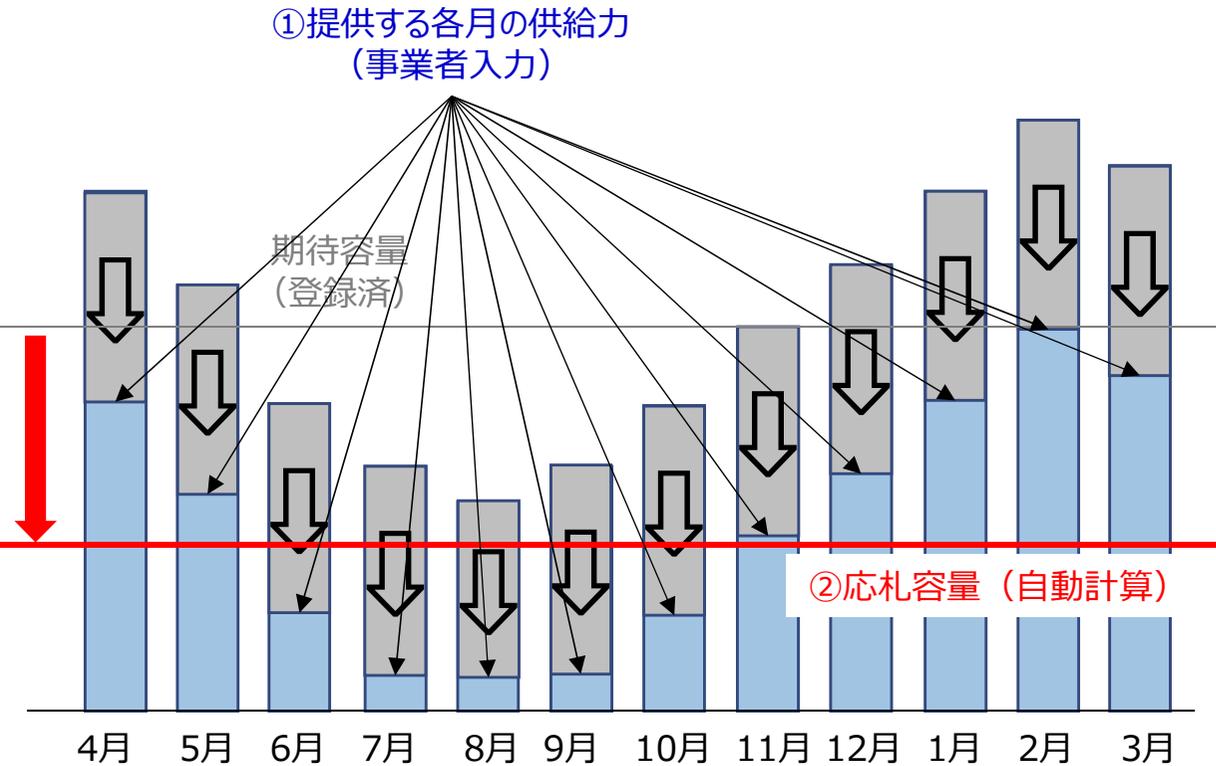
項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量 ②	20万 kW				
制度適用期間	20年				

### 3. 応札容量の算定方法【安定電源(揚水、蓄電池を除く)】 (期待容量>応札容量の場合) 13

- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」以下の値で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、以下ようになります。

灰字：既に設定済項目  
 青字：事業者が設定する項目  
 赤字：自動計算する項目

期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)



項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量 (送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	20万	18万	...	23万	22万
応札容量 ②	19万 kW				
制度適用期間	20年				

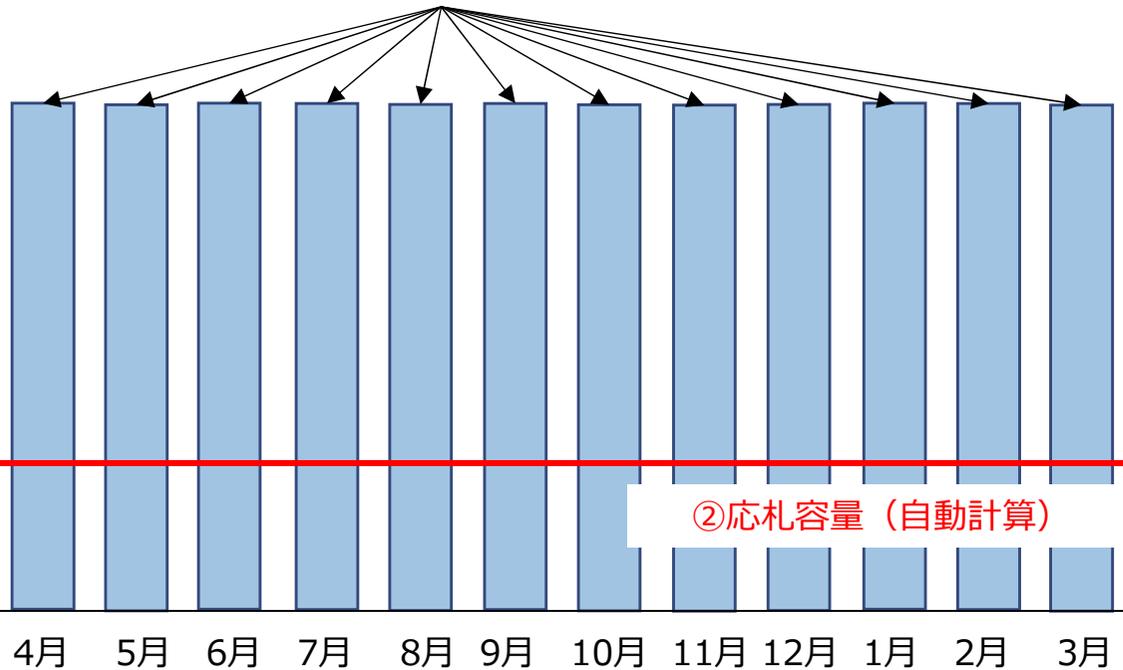
### 3. 応札容量の算定方法【変動電源】（期待容量 = 応札容量の場合）

- 期待容量の算定時に入力した「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」以下の値で、「提供する各月の送電可能電力」を設定することができます。
- 「提供する各月の送電可能電力」を「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」と等しい値で応札する場合、以下のようになります。

①提供する各月の送電可能電力  
(事業者入力)

灰字：既に設定済項目  
青字：事業者が設定する項目  
赤字：自動計算する項目

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）



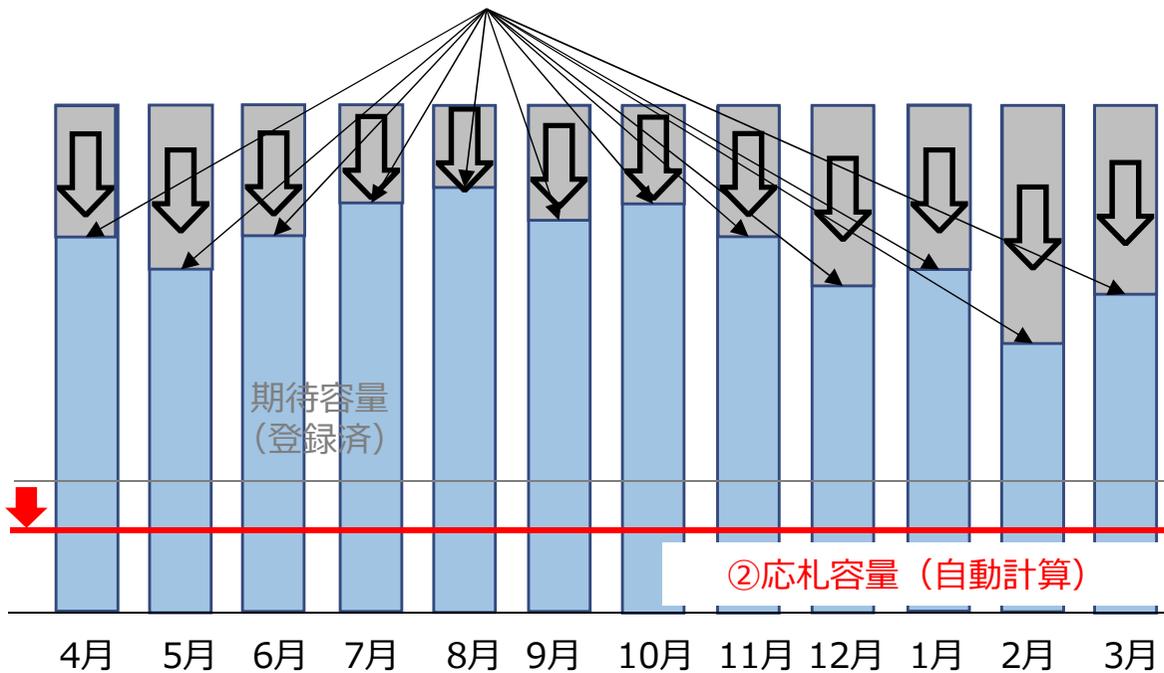
項目	事業者入力
電源等の区分	変動電源
中略	
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW
調整係数	9.1%
期待容量	10,046 kW
提供する各月の送電可能電力 ①	4月   5月   ...   2月   3月 11万   11万   ...   11万   11万
応札容量 ②	10,046 kW
制度適用期間	20年

### 3. 応札容量の算定方法【変動電源】（期待容量＞ 応札容量の場合）

- 期待容量の算定時に入力した「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」以下の値で、「提供する各月の送電可能電力」を設定することができます。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、以下のようになります。

①提供する各月の送電可能電力  
(事業者入力)

灰字：既に設定済項目  
青字：事業者が設定する項目  
赤字：自動計算する項目

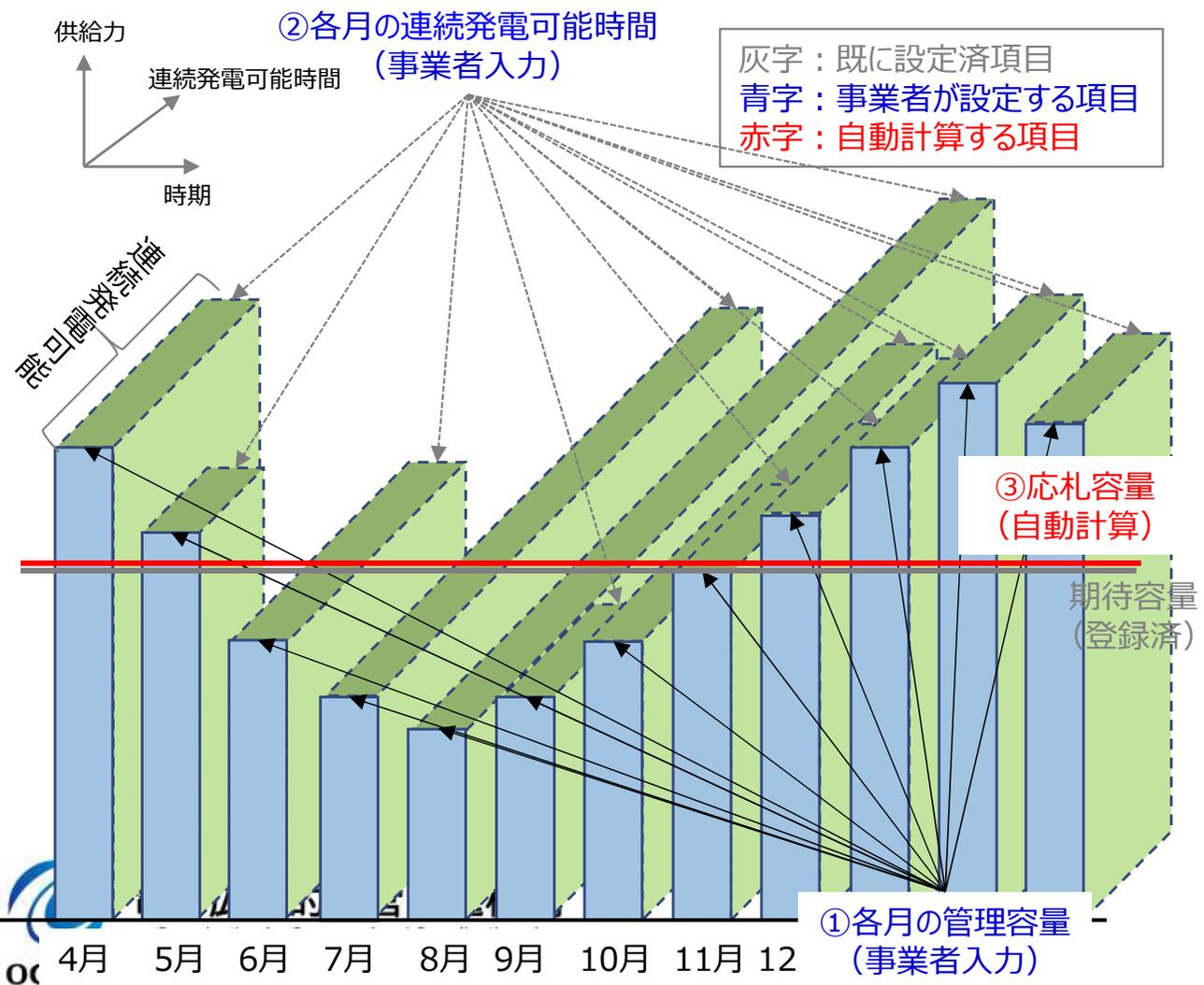


期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.1%				
期待容量	10,046 kW				
提供する各月の送電可能電力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	10万	11万	...	10万	10万
応札容量 ②	9,589 kW				
制度適用期間	20年				

### 3. 応札容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池）】（期待容量＝応札容量の場合）

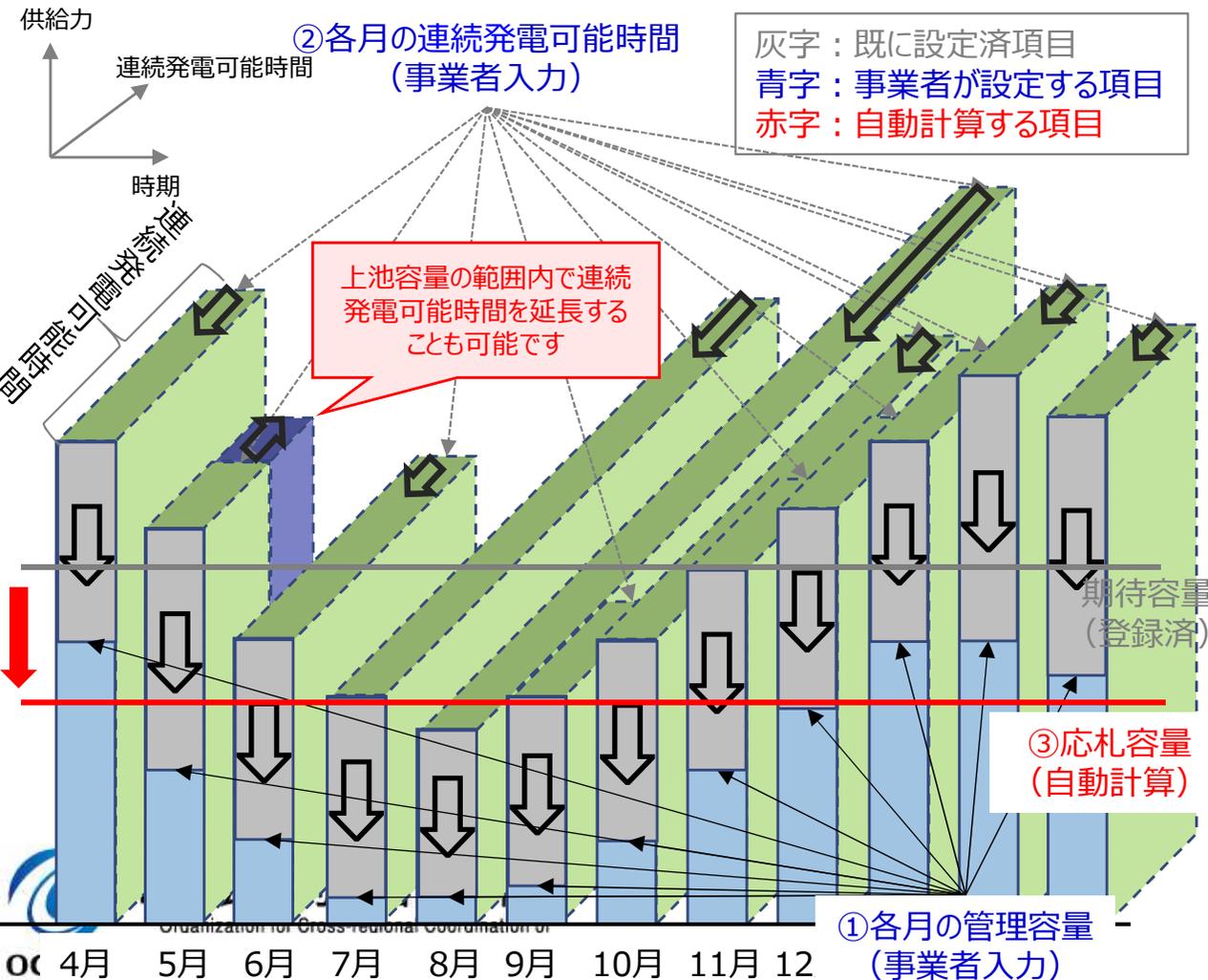
- 「各月の管理容量」および「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」を入力することにより、応札容量が自動計算されます。なお、「各月の管理容量」については、ダムもしくは蓄電池運用のリスク（運用による劣化に伴う蓄電池の容量減を含む）を踏まえ、「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」を上限に設定して下さい。
- 期待容量と等しい値で応札する場合、以下ようになります。



項目	事業者入力				
	中略				
本オークションに参加可能な設備容量 (送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間② (応札容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
連続発電可能時間(年平均値)	7h				
応札容量③	45,254 kW				
制度適用期間	20年				

### 3. 応札容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池）】（期待容量> 応札容量の場合） 17

- 「各月の管理容量」および「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」を入力することにより、応札容量が自動計算されます。なお、「各月の管理容量」については、ダムもしくは蓄電池運用のリスク（運用による劣化に伴う蓄電池の容量減を含む）を踏まえ、「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」を上限に設定して下さい。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、入力した「各月の管理容量」と「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」の積が、期待容量の入力した「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」と「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」の積を超えないようにして下さい。



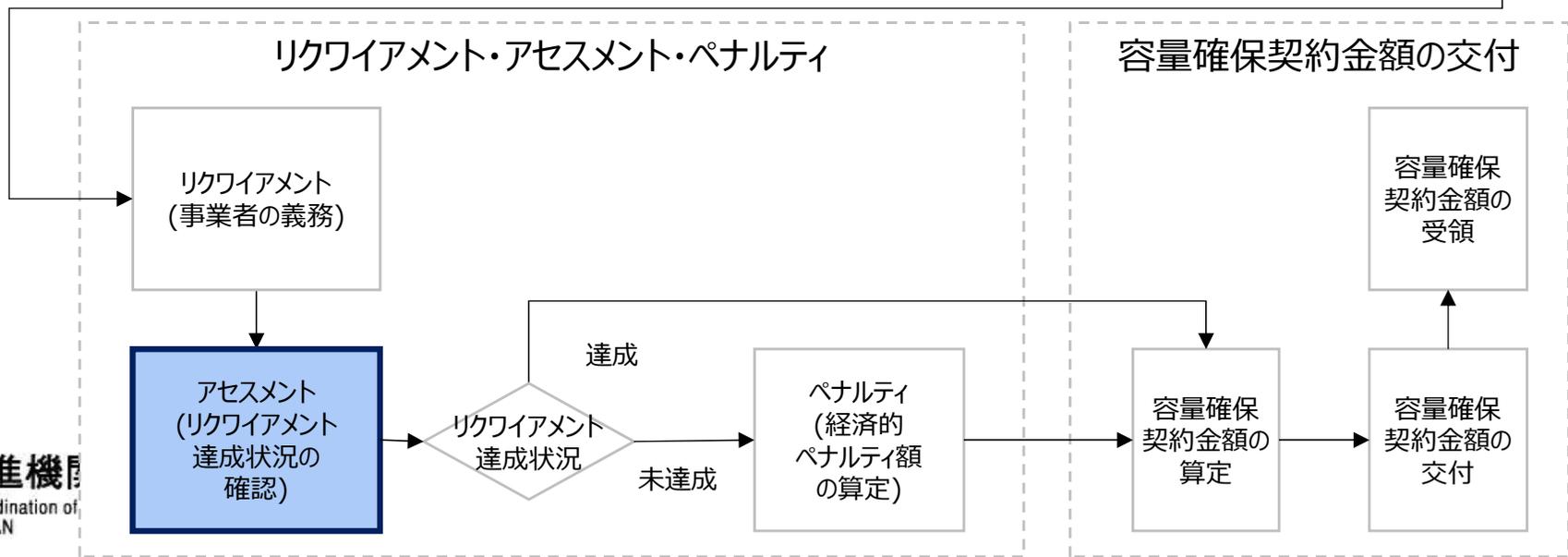
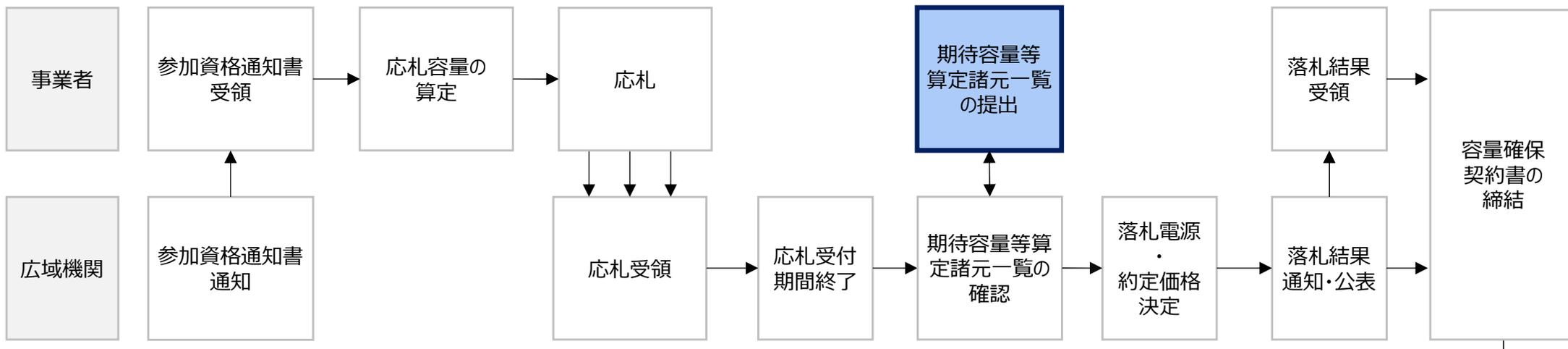
項目	事業者入力				
	中略				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	4万	3万	...	4万	3万
各月の連続発電可能時間 (応札容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	7h	8h	...	8h	8h
連続発電可能時間 (年平均値)	6h				
応札容量 ③	34,479 kW				
制度適用期間	20年				

「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

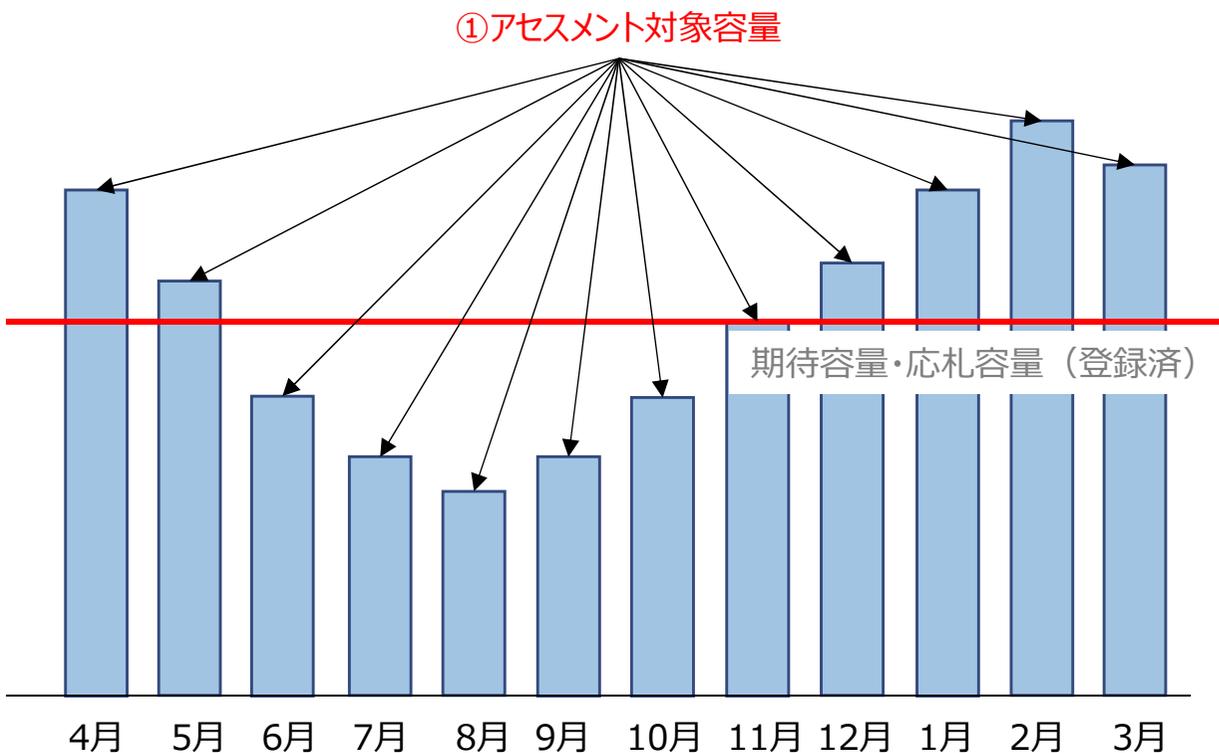
アセスメント対象容量について

■ 広域機関がリクワイアメントの達成状況を確認する際に利用するアセスメント対象容量については、応札容量の算定時に利用し、容量システムに登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている値を用います。

【凡例】  本資料での説明対象



- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

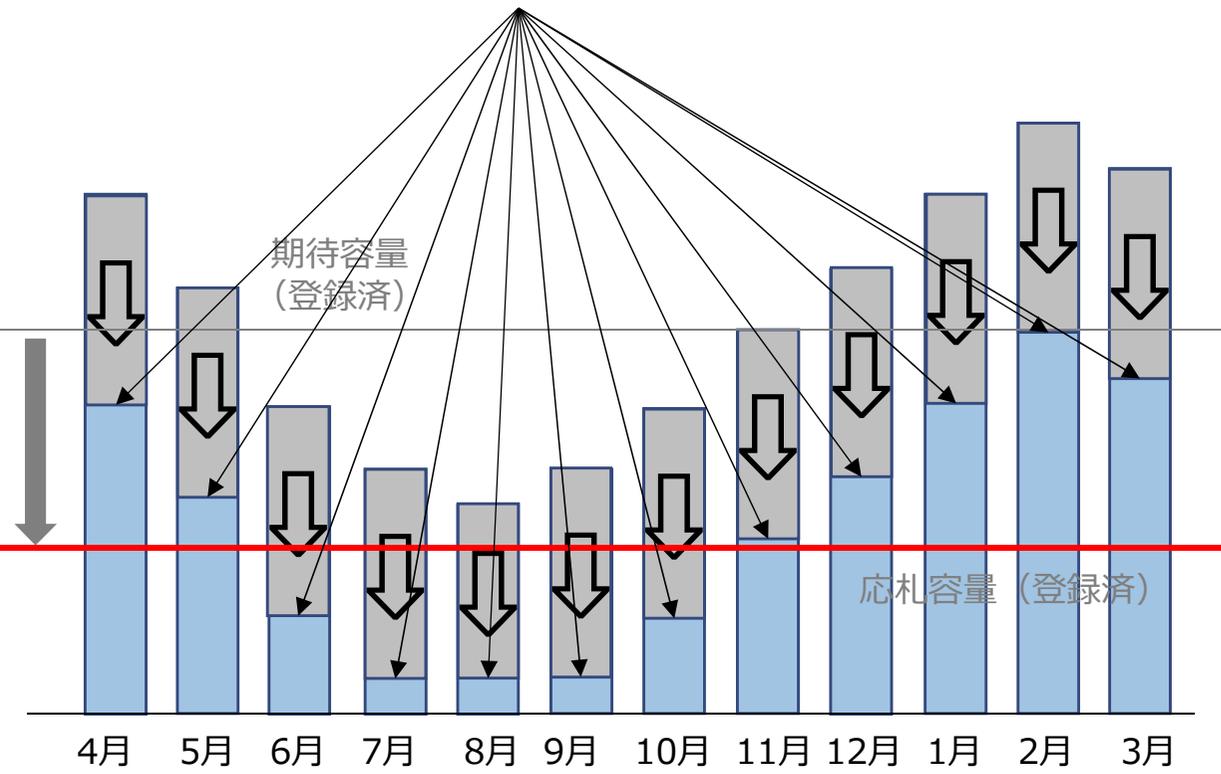


期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	20万 kW				
制度適用期間	20年				

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

①アセスメント対象容量



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

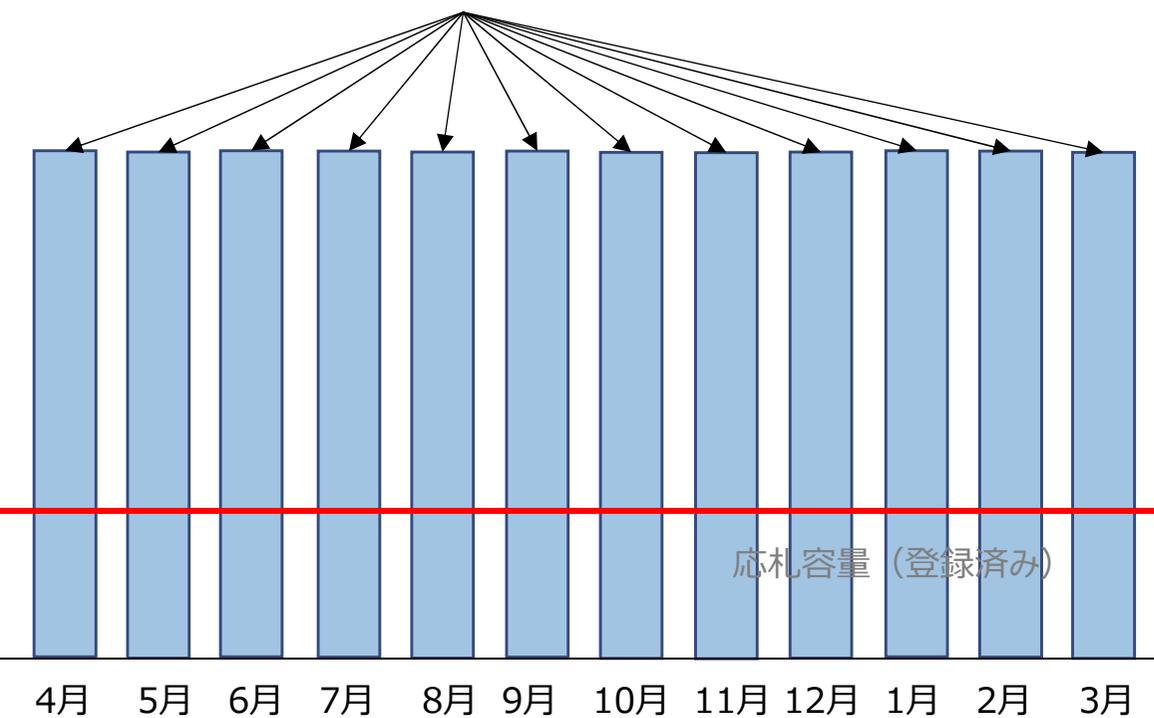
項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	20万	18万	...	23万	22万
応札容量	19万 kW				
制度適用期間	20年				

## 4. アセスメント対象容量【変動電源】（期待容量 = 応札容量の場合）

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の送電可能電力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

灰字：既に設定済項目  
 青字：事業者が設定する項目  
 赤字：自動計算する項目

①アセスメント対象容量



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

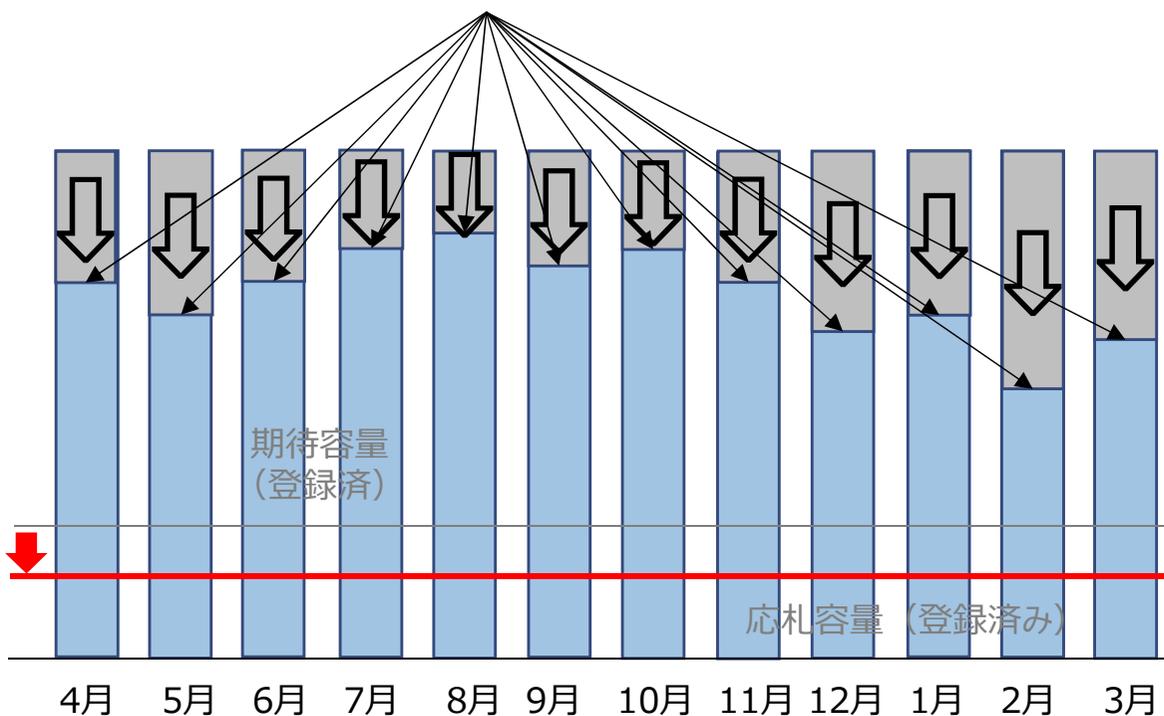
項目	事業者入力				
電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.0%				
期待容量	9,882 kW				
提供する各月の送電可能電力 <sup>①</sup>	4月	5月	...	2月	3月
	11万	11万	...	11万	11万
応札容量	9,882 kW				
制度適用期間	20年				

## 4. アセスメント対象容量【変動電源】（期待容量＞ 応札容量の場合）

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の送電可能電力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

灰字：既に設定済項目  
 青字：事業者が設定する項目  
 赤字：自動計算する項目

①アセスメント対象容量

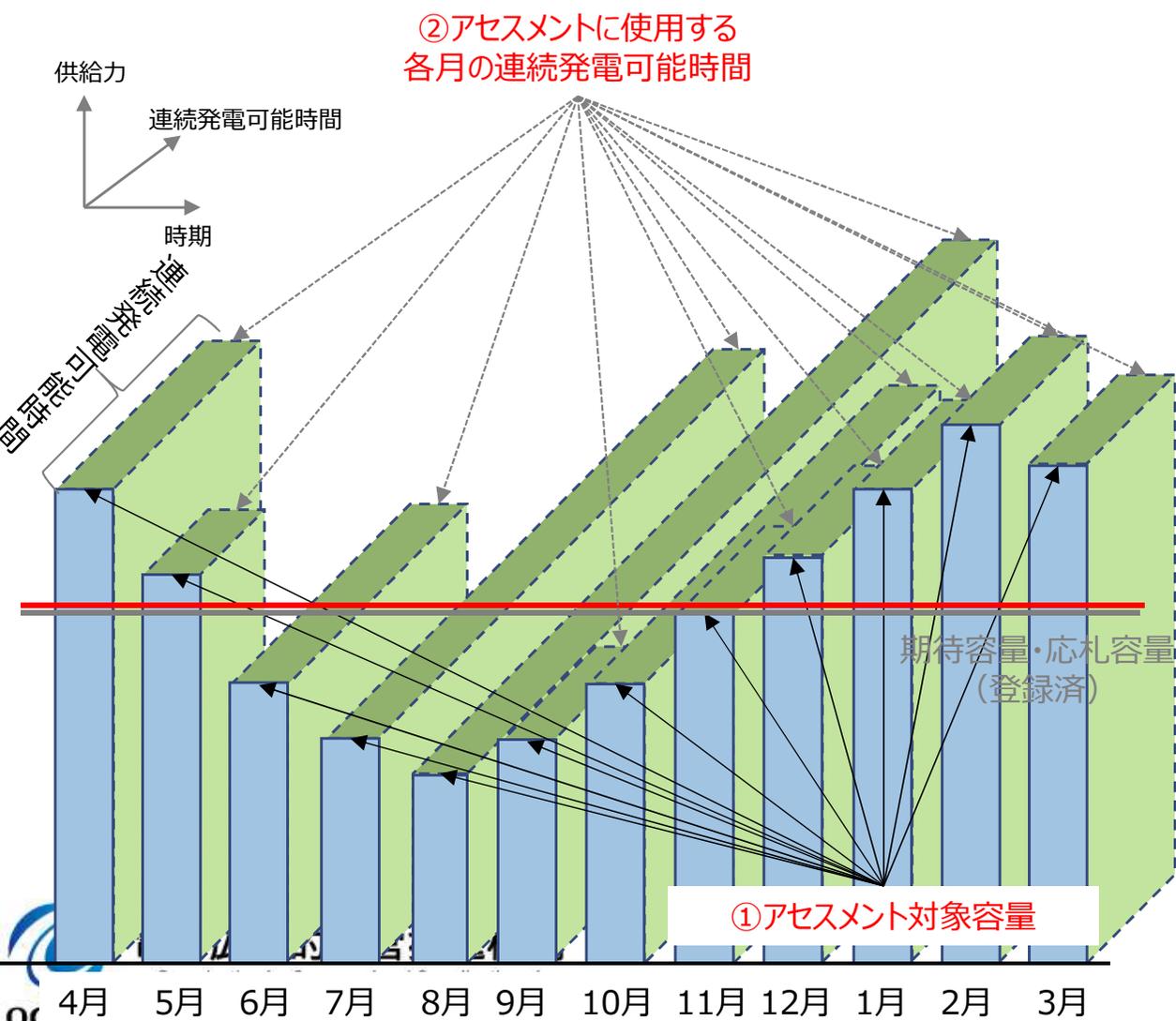


期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.0%				
期待容量	9,882 kW				
提供する各月の送電可能電力 <sup>①</sup>	4月	5月	...	2月	3月
	8万	9万	...	7万	8万
応札容量	7,187 kW				
制度適用期間	20年				

# 4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池)】 (期待容量 = 応札容量の場合) 24

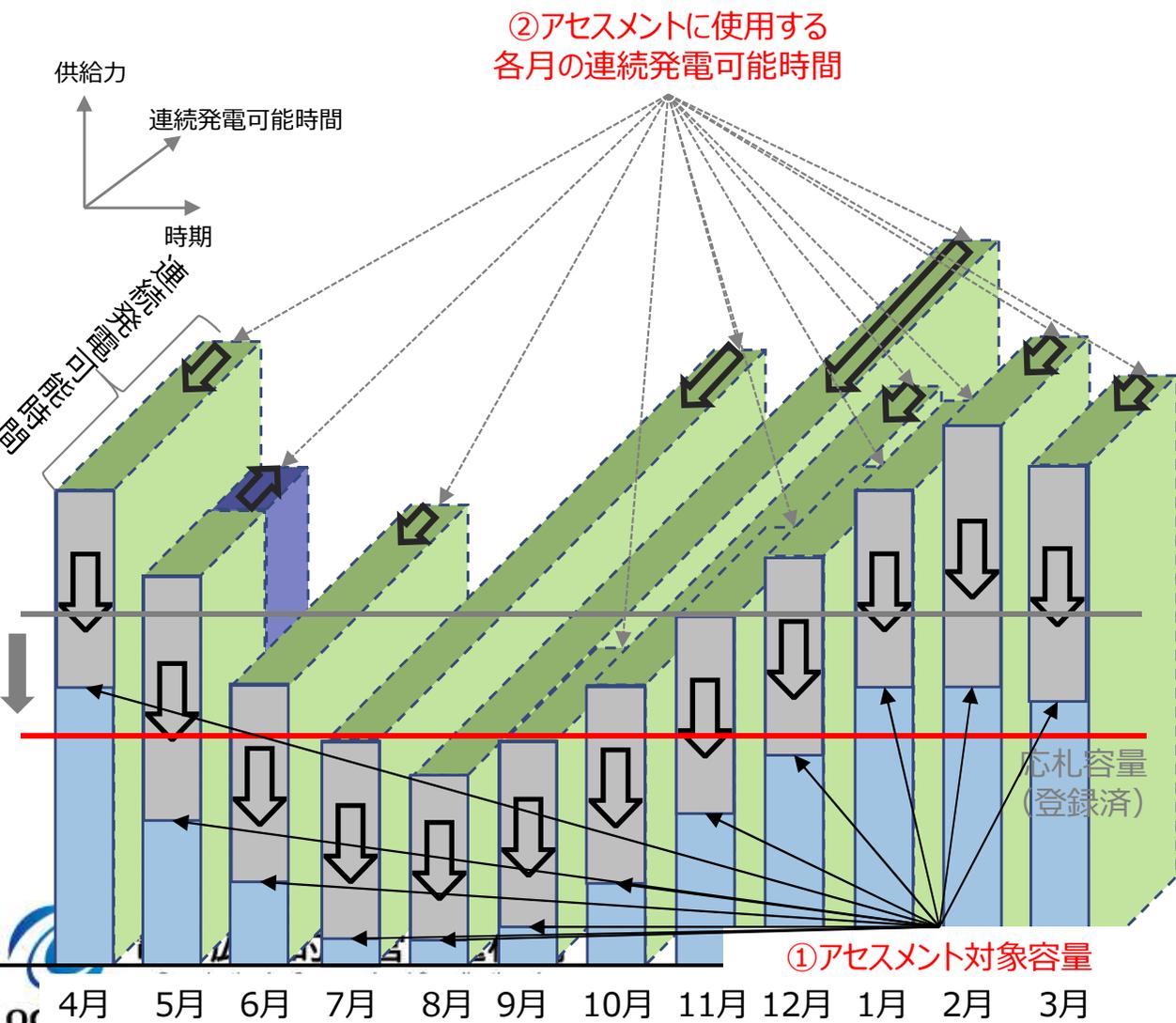
- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「各月の管理容量」がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量およびアセスメントに使用する各月の連続発電可能時間は、月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。



項目	事業者入力				
	中略				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間 ②	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
連続発電可能時間(年平均値)	7h				
応札容量	45,254 kW				
制度適用期間	20年				

# 4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池)】 (期待容量 > 応札容量の場合) 25

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「各月の管理容量」がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量およびアセスメントに使用する各月の連続発電可能時間は、月毎に設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。



項目	事業者入力				
	中略				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	4万	3万	...	4万	3万
各月の連続発電可能時間 (応札容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	7h	8h	...	8h	8h
連続発電可能時間 (年平均値)	6h				
応札容量	34,479 kW				
制度適用期間	20年				

- 『期待容量等算定諸元一覧』については、本機関HPにおいてエクセル版を公表しております。期待容量および応札容量を算定する際には、エクセル版『期待容量等算定諸元一覧』をダウンロードして使用して下さい。

<リンク先>

[https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/youryousystem\\_sankatouroku/2024\\_long.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/youryousystem_sankatouroku/2024_long.html)

- 『期待容量等算定諸元一覧』を作成する際、容量市場システムの電源等情報に**実需給年度の時点で想定される情報**が登録されていることを確認してください。
- 参加登録申請者が『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに提出する場合、ファイル名を以下のとおり設定して下さい。なお、『期待容量等算定諸元一覧』については、①期待容量の登録時および②応札期間終了後の2回提出していただきますので、ファイル名にご注意下さい。

<期待容量提出時>

ファイル名「エリア\_長期期待容量\_電源等識別番号.xlsx」として下さい。

例) 東京\_長期期待容量\_0123456789.xlsx

<応札期間終了後>

ファイル名「エリア\_長期応札容量\_電源等識別番号.xlsx」として下さい。

例) 東京\_長期応札容量\_0123456789.xlsx

【留意点】

- ✓ 数字で記載するのは電源等識別番号のみです。
- ✓ 「期待容量」や「応札容量」の箇所は「〇〇〇〇kW」等の値で記載しないでください。